

新型コロナウイルスが中国国外へ拡大し、大幅に下落した欧米株式

楽読 (ラクヨミ)

nikko am
fund academy

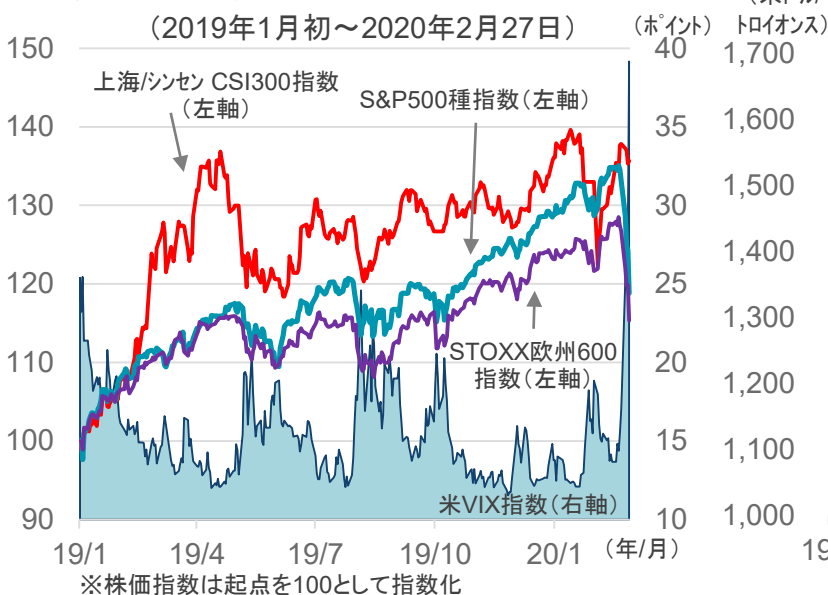
新型コロナウイルスが中国国外でも拡大し、世界経済へ悪影響が及ぶとの懸念が高まったことで、欧米の株式市場は2月末にかけて大幅に下落し、投資家心理を表すとされる米VIX指数は急上昇(投資家心理の悪化を示す)しました。一方、安全資産とされる米国債や金は買われ、米長期金利は過去最低を更新しました。

新型ウイルスの感染者が、イタリアや韓国、イランなどで急増し、世界中に拡大したことで、投資家の警戒感が高まりました。WHO(世界保健機関)のテドロス事務局長は「パンデミック(世界的流行)の可能性があり」とし、自国には感染しないという考えは「致命的な誤り」と各国に一段の警戒を促しています。また、米企業が、感染拡大により業績が下押しされる可能性があるとして、相次ぎ公表し始めたことも投資家心理を冷やしました。米IT大手が20年1-3月期の売上高予想を下方修正したほか、在中国の米国商工会議所は、中国に拠点を置く企業に対する調査で、8月までに感染拡大が収束しなかった場合、「中国での今年の売上高が半減する」との回答が2割に上った、と公表しました。

なお、米国株式は昨年、米国経済や米企業業績に対する強気な見方を背景に、S&P500種指数が約30%上昇し、今年2月には過去最高値を更新しました。そうしたなか、株価バリュエーションが過去の平均に比べて高水準にあり、株価の調整が起こりやすい状況にあったともいえます。

新型ウイルスの感染拡大により、市場環境に不透明感が増しており、感染が長期的かつ、拡がりを伴う場合、世界経済や株式市場への影響も大きくなるとみられます。ただし、IMF(国際通貨基金)の予想では、中国当局が現在の政策を確実に実行し、同国経済が今年4-6月期に通常の状態に戻る場合、世界経済への影響は比較的限定されるとしています。また、足元で堅調な米国経済が、仮に大幅に減速する場合、FRB(米連邦準備制度理事会)が追加利下げに踏み切るとの観測が高まる可能性もあり、こうしたことは、株式市場を支えすと期待されます。

主要株価指数(現地通貨ベース)と米VIXの推移



金価格と米長期金利の推移



(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。